

# 令和4年度 3学期 学校関係者評価

中津市立山口小学校

1 学校の教育目標

言葉によって社会や未来とつながり 自己実現をめざす子どもの育成

2 育成を目指す資質・能力

言語能力（読み取る力・きき取る力）

3 重点目標・達成指標、重点的取組等

評価判断基準	
A	…達成率90～100%
B	…達成率70～89%
C	…達成率60～69%
D	…達成率60%未満

生きて働く知識・技能  
思考力・判断力・表現力  
学びに向かう力、人間性等の涵養  
働き方改革の推進

重点目標	達成指標		重点的取組	取組指標	評価	成果と課題、及び次期（次年度）に向けての取組
受信に関する知識・技能の習得	国語・算数の単元テスト（知識・理解）で平均80点以上の児童80%以上	学校	○相手意識に基づききき方（技能）についての指導	学級担任が、授業において、発表者がすぐ発言できるように注目してきくことを指導する。（毎時間）	A	国語の単元テストの結果や、週1回ではあるけれどセルフチェックの取り組み率が上昇しているところが素晴らしい。継続を。
	児童アンケートにおいて「以前に比べて聞き方上手になった」で肯定的評価をした児童80%以上	家庭	○音読を基にした子どもとの問答	保護者が、子どもの家庭学習（音読）をきき、感じたことを伝える。（週1回以上）	A	保護者の協力が得られているところが素晴らしい。忙しい保護者が家事をしながらでも感じたことが伝えられたら実行しやすいのではないか。家庭での取り組みは、まずコミュニケーションの回数が一番重要であることを重視したことが良かった。
		地域	○地域人材による読み聞かせ	地域住民による読み聞かせ活動を実施する。（月1回以上）		
対話のための受信力の育成	国語・算数の単元テスト（思考・判断・表現）で平均80点以上の児童80%以上	学校	○対話力（受信・発信）向上のための協同学習	学級担任が、授業において、キーワードを活用して、自分の考えが書けるように指導する。（1日1時間以上）	A	算数に重点を置いた取り組みが必要だと感じる。目標値が高すぎるのか。
	児童アンケートにおいて「以前に比べて内容が読み取れるようになった」で肯定的評価をした児童80%以上	家庭	○親子のコミュニケーション時間の確保	保護者が、学校（生活・学習）の様子について子どもに尋ね、コミュニケーションの機会を持つ。（週1回以上）	A	保護者が学校の目標を理解し、実行していることがよくうかがえる。
		地域	○学習ボランティアへの参加	地域住民による生活科や総合的な学習の時間における児童との対話（1要請1人以上）	A	コスモス祭りPR大作戦と公開展示など観察会（生育）をおこなってはどうか。
自他を尊重し、協働して成長しようとする態度の涵養	児童アンケートにおいて「友だちや大人の話聞いて自分が成長することができた」で肯定的評価をした児童80%以上	学校	○自分の成長を確かめる場の設定	学級担任が、授業において、互いの振り返りを共有する場を持たせ、自己の成長を見直す機会を設定する。（週1回以上）	A	児童アンケート結果からでもわかるように、言葉で自分の振り返りを聞いたと言ったりすることで、自分の成長が確かめられているんだと思う。
		家庭	○あいさつ+1の取組	保護者から先に子どもにあいさつし、+1（一言）声をかける。（毎日）	A	プラス1でその子の1日が変わるとしたらとても大切なプラス1。ぜひ継続を。子どもの姿をよく見ていなければ、適切な言葉はかけられないだろう。
		地域	○三光あいさつ運動の推進	地域住民は通学路におけるあいさつ運動をおこなう（毎月8日）	A	明るい元気な挨拶ができています、我々大人から先に挨拶をすることも大切ですよ。子どもたちのあいさつは素晴らしい。今後も学校・家庭・地域が連携した継続的な取り組みを進めていけたらよい。見守り隊およびあいさつ運動ができていた。
教育効果を高めるための組織的取組の充実	教職員アンケートで「児童と向き合う時間が確保されていると感じる」について肯定的な回答が3、6以上	学校	○業務の効率化と休憩時間の確保	○提案者が見通しを持って早めに提案できるように議事内容のスケジュール管理を行う。 ○提案物は、事前に校長の決裁を受ける。	C	忙しいでしょうが、頑張ってください。どの仕事でも現場レベルでの話し合いや努力では改善が難しいのではないかと。取組指標と目標の関係性が薄いと感じる。
	「授業改善のための時間が確保されていると感じる」について肯定的な回答が3、6以上	家庭	家庭学習の実施確認	○保護者が、家庭学習実施の声かけ及び確認を毎日する。 ※必要に応じてやり直しの声かけもする。	A	保護者の協力を得られていることに頼もしさを感じる。
		地域	児童の学習活動の支援	○地域住民が、学校・学校運営協議会・「協育」コーディネーターを通じた学習支援を行う。（要請時）	B	コーディネーターとして学校の要請にはできるだけ応えていきたい。